

事務事業評価表（内部管理事務等）

1次評価日（主幹等） 2年3月31日

2次評価日（課長等） 2年3月31日

1 事業名	塵芥収集事業			コード	11208	
2 担当部課	部等	市民環境部	課等	市民環境課	作成者	吉田 和正
3 事業概要	目的体系	基本目標	安全・安心で、自然環境と共生するまち			
		政策	環境保全の推進	施策	生活環境対策の推進	
		予算科目	塵芥収集事業費	業務委託	一部委託	
		実施義務	あり（義務的・標準的事業）	国県補助	なし	
		根拠法令	廃棄物処理及び清掃に関する法律（昭和45年法律第37号）			

●事業の実施内容（D0）

4 事業の概要等	*対象者（誰のため）、意図（どのような状態にしたいのか）		
事業の概要 （簡潔に）	定位置に排出された燃やすごみ、埋立ごみの効率的な収集及び、清掃湖周クリーンセンターへの持込まれるごみに対し、さらなる分別の徹底を図る。		
目的	対象者	ごみを排出する市民や事業者	
	意図	ごみ減量と3R（リデュース、リユース、リサイクル）の推進	

5 事業の実施内容	*元年度に、いつ・どこで・誰が・何を・どのように行ったか、という具体的な内容		
	<ul style="list-style-type: none"> 燃やすごみ5コース（週2回）の収集委託を長期契約（H29.4.1-R2.3.31）を実施し、諏訪湖周クリーンセンターへ搬入した。 埋立ごみ1コース（月1回）の収集委託を長期契約（H29.4.1-R2.3.31）で実施した。 委託業者に年4回実施の連絡調整会議を通じ、未収集の徹底及び事故防止の注意喚起を行った。 廃棄物処理業等の新規許可、更新業務を行った。 廃棄物処理手数料の収納業務を行った。 		
前年度の課題への対応	<ul style="list-style-type: none"> 衛生自治会に定位置巡回の強化をお願いし、違反ごみの状況について、逐次連絡をもらって対応した。 違反ごみは、収集業者と違反内容について再確認を行った。 		

6 ア) コストの推移	*この事業にかかる費用（人件費は、1人あたり年間800万円で換算）			[単位：円]
区分	29年度	30年度	元年度	2年度(予算)
① 直接事業費	38,754,517	38,430,619	42,769,215	46,317,000
経常経費	38,754,517	38,430,619	42,769,215	46,317,000
臨時的経費	0	0		
* 臨時的経費の説明				
② 人件費	3,200,000	3,200,000	3,200,000	3,200,000
正規職員の人数(人)	0.40	0.40	0.40	0.40
③ 合計コスト (①+②)	41,954,517	41,630,619	45,969,215	49,517,000
前年度比		99.2%	110.4%	107.7%
財源内訳				
一般財源	10,752,937	9,095,989	13,065,645	11,558,000
特定財源	31,201,580	32,534,630	32,903,570	37,959,000
* 特定財源の説明	* 廃棄物処理手数料			
④ コストに関する補足説明				

イ) 負担金、補助金、交付金の状況

[単位：件、円、%]

負担金補助金		29年度	30年度	元年度	2年度(予算)
	件数				
	金額				
	件数				
	金額				
	件数				
	金額				
	件数				
	金額				
ア)の①に含まれる負担金等合計金額及び割合	合計金額	0	0	0	0
	割合	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%

●改善の内容 (ACTION)

7 具体的な課題と改善

課題	<p>(事務を正確に実施し、少ない費用で効率的に事業を行う上で、現在課題になっていること)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・収集コースによって収集量に偏りがあり、コースの再編成を実施したため、令和2年度から3年間の契約について、再度検証が必要。
	<p>(上記の課題をふまえて2年度以降に実施する、具体的な改善の内容)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・収集コース別の排出量調査や収集時間等について検証を行う。
改善方法	
改善開始時期	令和2年4月

●次年度の計画 (PLAN)

8 次年度の方針	継続して実施	9 施策評価による2年度の優先度 *H30年度施策評価表より転記すること	B
----------	--------	---	---